

2022年度 地域共生学科食物栄養コース 履修系統図

地域共生学科食物栄養コースのディプロマポリシー

人間性と品格を備えた社会人として行動できる。

栄養士に必要な基礎的・専門的な知識や技能を身につけている。

栄養士の業務に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけている。

現代の食に関わる様々な課題を発見・理解・分析し、解決に取り組むことができる。

学修経験をもとに、目標とする栄養士像に近づくために自身を向上させることができる。

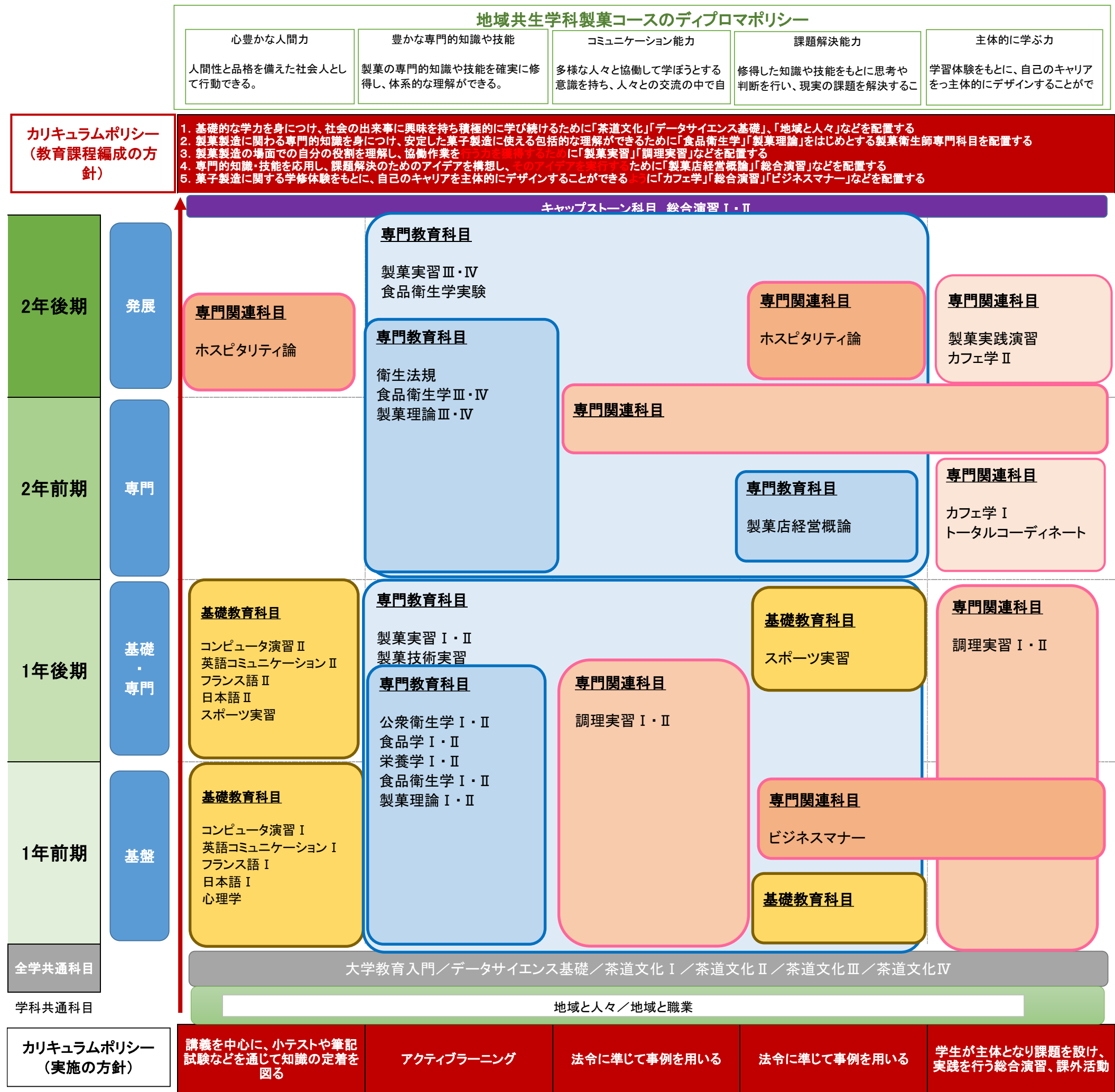
カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方針)

社会人としての教養(基礎知識)を高めるために、全学必修の「茶道文化」「データサイエンス基礎」を配置する。
他者を理解し、尊重することができる社会性を養うために学科の専門科目内でのグループワーク型授業を配置する
栄養士に必要な専門知識を習得するために栄養士養成規定科目を配置する
栄養士の業務に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、を高めるために、「給食の運営」、「栄養の指導」に関する科目を配置する
食と健康、食とスポーツ、食とライフステージに関する課題解決能力を高めるために「栄養の指導」、「スポーツ栄養」、「栄養と健康」に関する科目を配置する
学修体験を統合するために、「総合演習」を配置する

	基礎教育科目	社会生活と健康	人体の構造と機能	食品と衛生	栄養と健康	栄養の指導	給食の運営	独自科目
2年後期	英語コミュニケーションⅡ スポーツ科学	公衆衛生学 社会福祉概論	運動生理学	食品学実習 食品衛生学実習 食品衛生学		公衆栄養学	調理学実習Ⅳ	総合演習B
2年前期	心理学				応用栄養学実習 臨床栄養学実習 臨床栄養学各論 臨床栄養学総論	栄養指導論実習Ⅱ 栄養指導論Ⅱ	学外実習Ⅱ 学外実習Ⅰ 給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ 調理学実習Ⅲ	学外実習事前・事後指導 総合演習A スポーツ栄養学実習
1年後期	地域と職業 スポーツ実習 コンピュータ演習Ⅱ		解剖生理学実習 解剖生理学Ⅱ	食品学Ⅱ	応用栄養学	栄養指導論実習Ⅰ	調理学実習Ⅱ	スポーツ栄養学
1年前期	地域と人々 基礎化学実習 基礎化学 コンピュータ演習Ⅰ 英語コミュニケーションⅠ		生化学実習 生化学 解剖生理学Ⅰ	食品学Ⅰ	基礎栄養学	栄養指導論Ⅰ	調理学実習Ⅰ 調理学	栄養士論
全学共通科目	大学教育入門／データサイエンス基礎／茶道文化Ⅰ／茶道文化Ⅱ／茶道文化Ⅲ／茶道文化Ⅳ							

赤字：栄養士養成規定科目
黒字：選択科目

2022年度 地域共生学科製菓コース 履修系統図



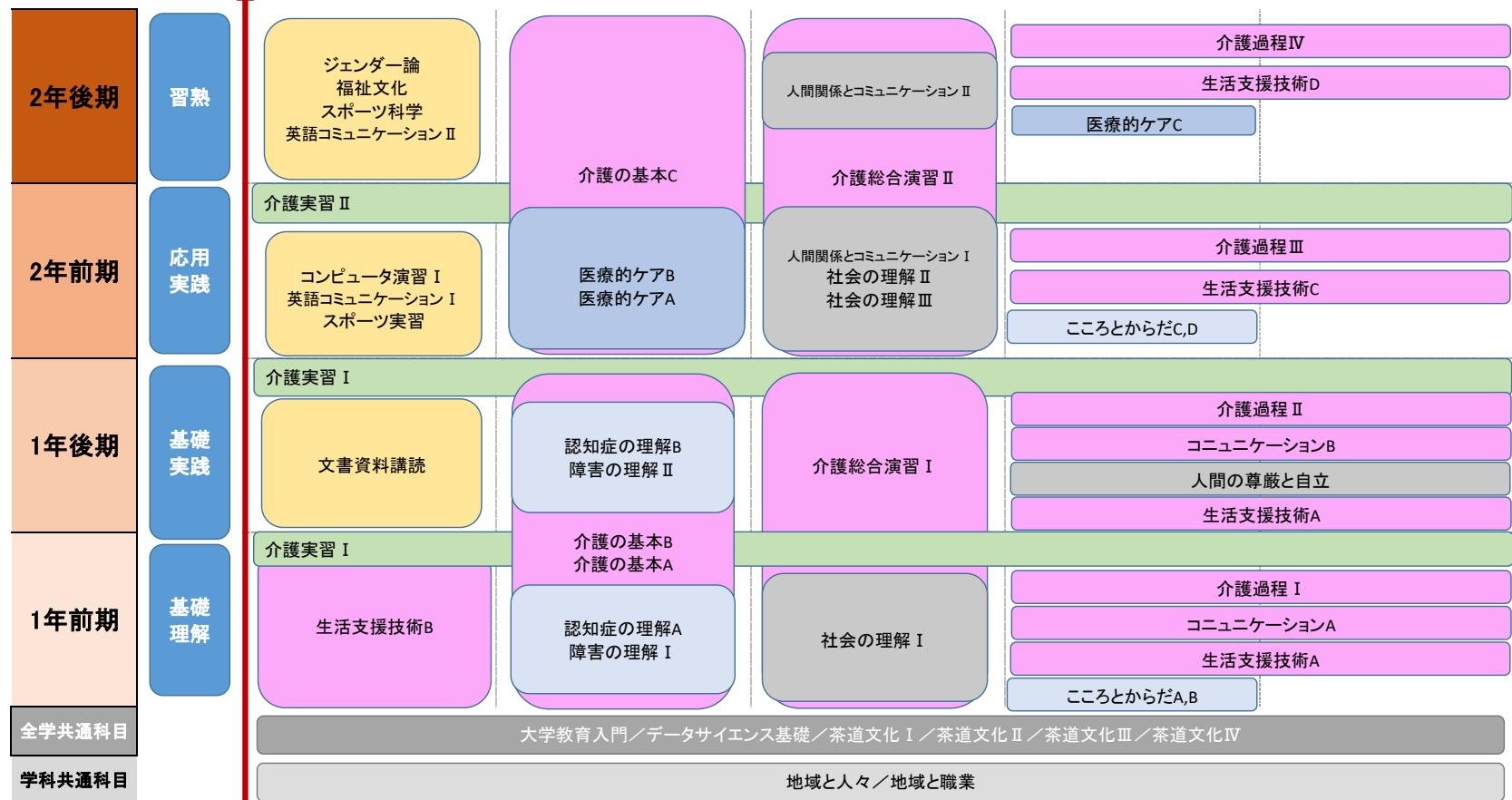
2022年度 地域共生学科介護福祉コース 履修系統図

地域共生学科介護福祉コースのディプロマポリシー

心豊かな人間力 人間性と品格を備えた社会人として 行動できる	確かな専門的知識や技能 介護福祉の専門的な知識と技能を 修得し、体系的な理解ができる	コミュニケーション能力 介護が必要な人や家族、職場の同 職種・多職種及び地域の人とコミュ ニケートすることができる。	課題解決力 (実践力) 専門的な知識や技能を用いて本人 や家族のエンパワメントを見出し、	主体的に学ぶ力 自分の介護観や理想とする介護福 祉士像になるためにキャリアデザイ ンすることができる。
--------------------------------------	--	---	---	--

カリキュラムポリシー (教育課程編成の方

- 1 人間力を養うため、「茶道文化」「社会人基礎入門」をはじめとした基礎科目、「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」「介護の基本」などの専門科目を配置する
- 2 専門的知識と技能を養うため、介護の領域として「介護の基本」「生活支援技術」など、こころとからだのしくみの領域として「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」など、人間と社会の領域とし
て「社会の理解」など、順次性と系統性を考慮しながら配置する
- 3 コミュニケーション能力を養うため、基礎的な知識の習得を目指して「コミュニケーション技術」を配置し、また、コミュニケーション能力を発揮する機会として「介護実習」を配置する
- 4 課題解決能力を養うため、「介護過程」を配置し、「介護の基本」「生活支援技術」といった知識と技能の習得に関する科目と「介護実習」をつなぐ
- 5 主体的に学ぶ力を養うため、実習前後の準備と事例研究の作成を行う「介護総合演習」と59日間の「介護実習」を配置する



人間と社会

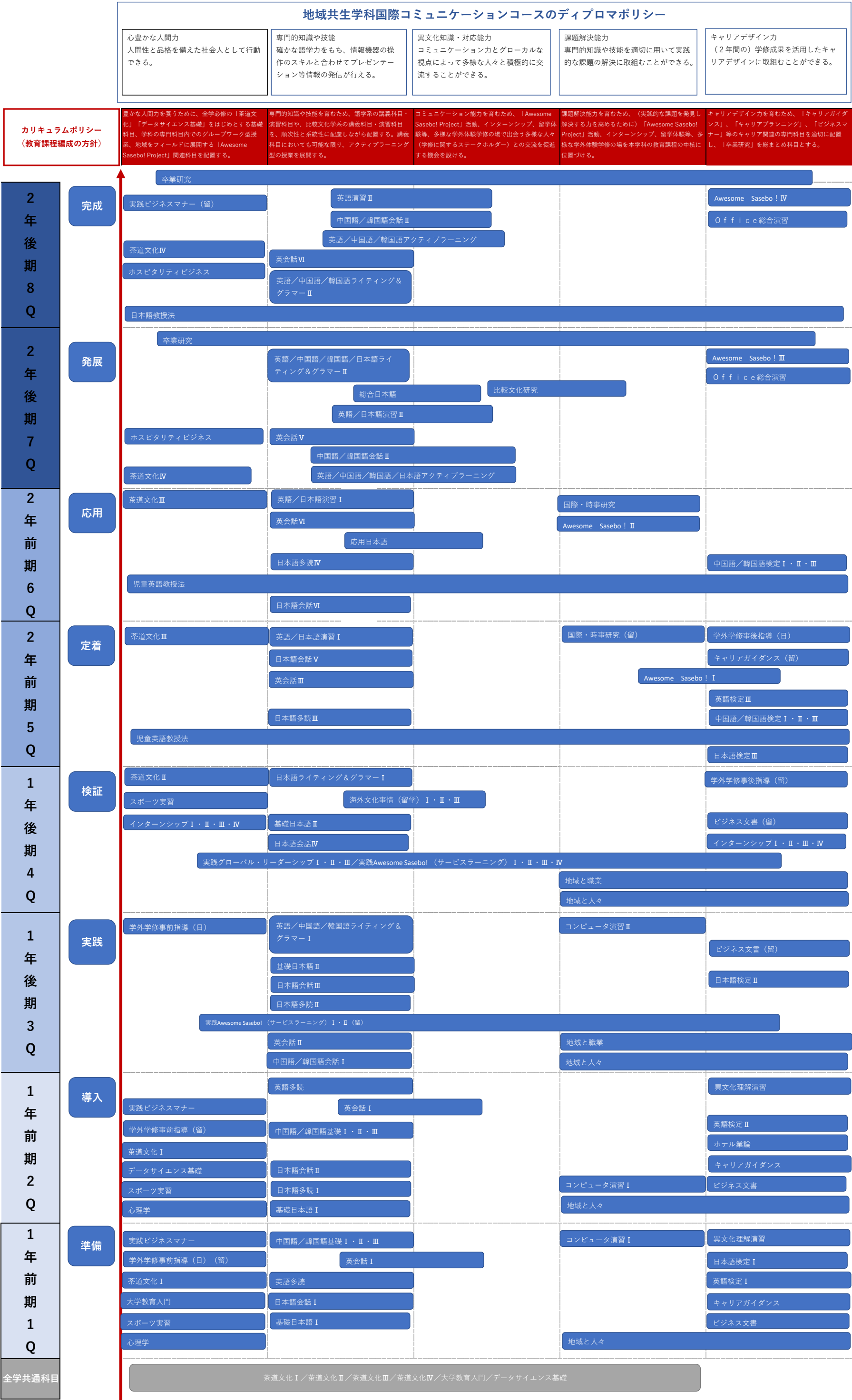
介護

実習

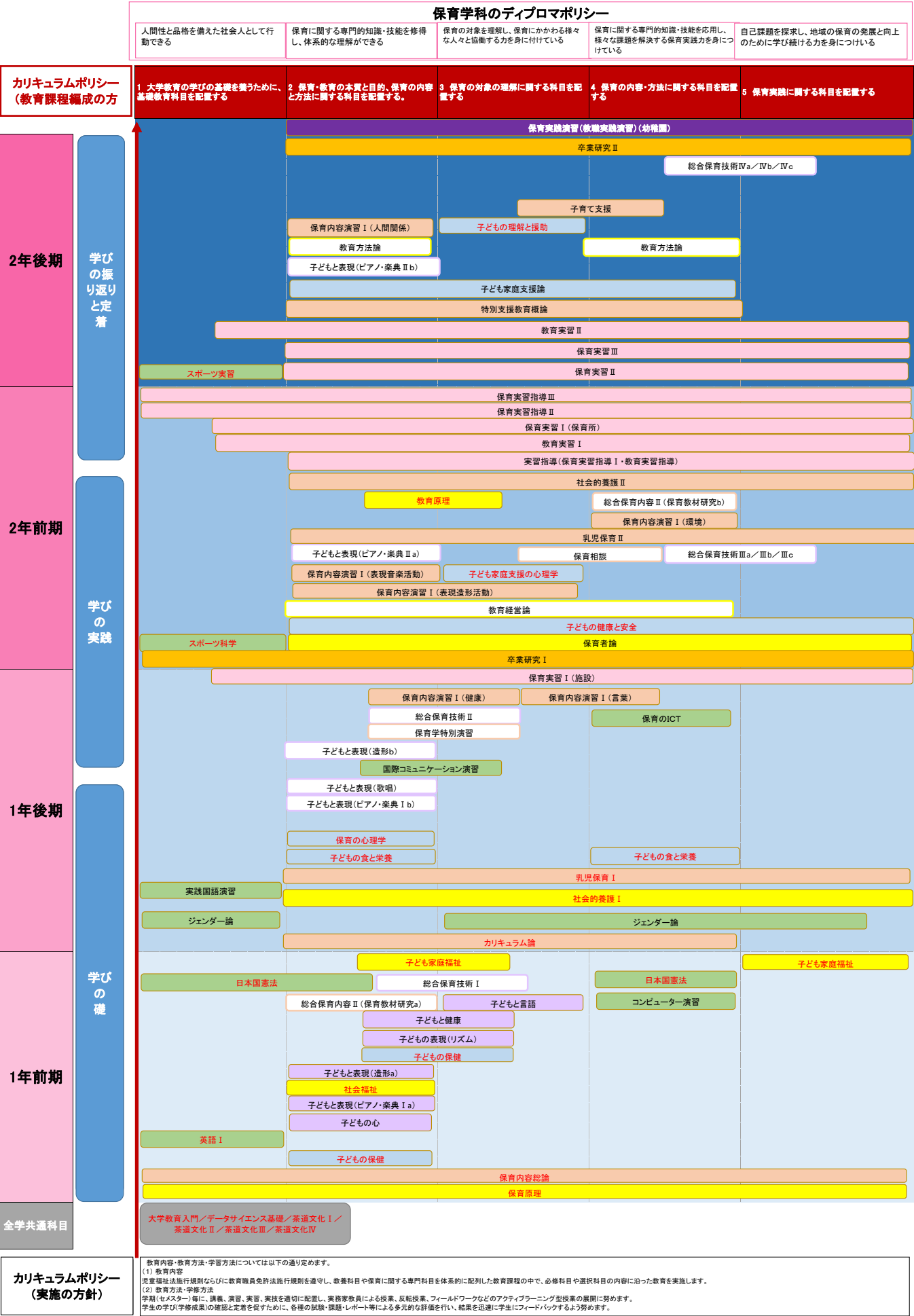
こころとからだのしくみ

医療的ケア

基礎教育科目(選択)

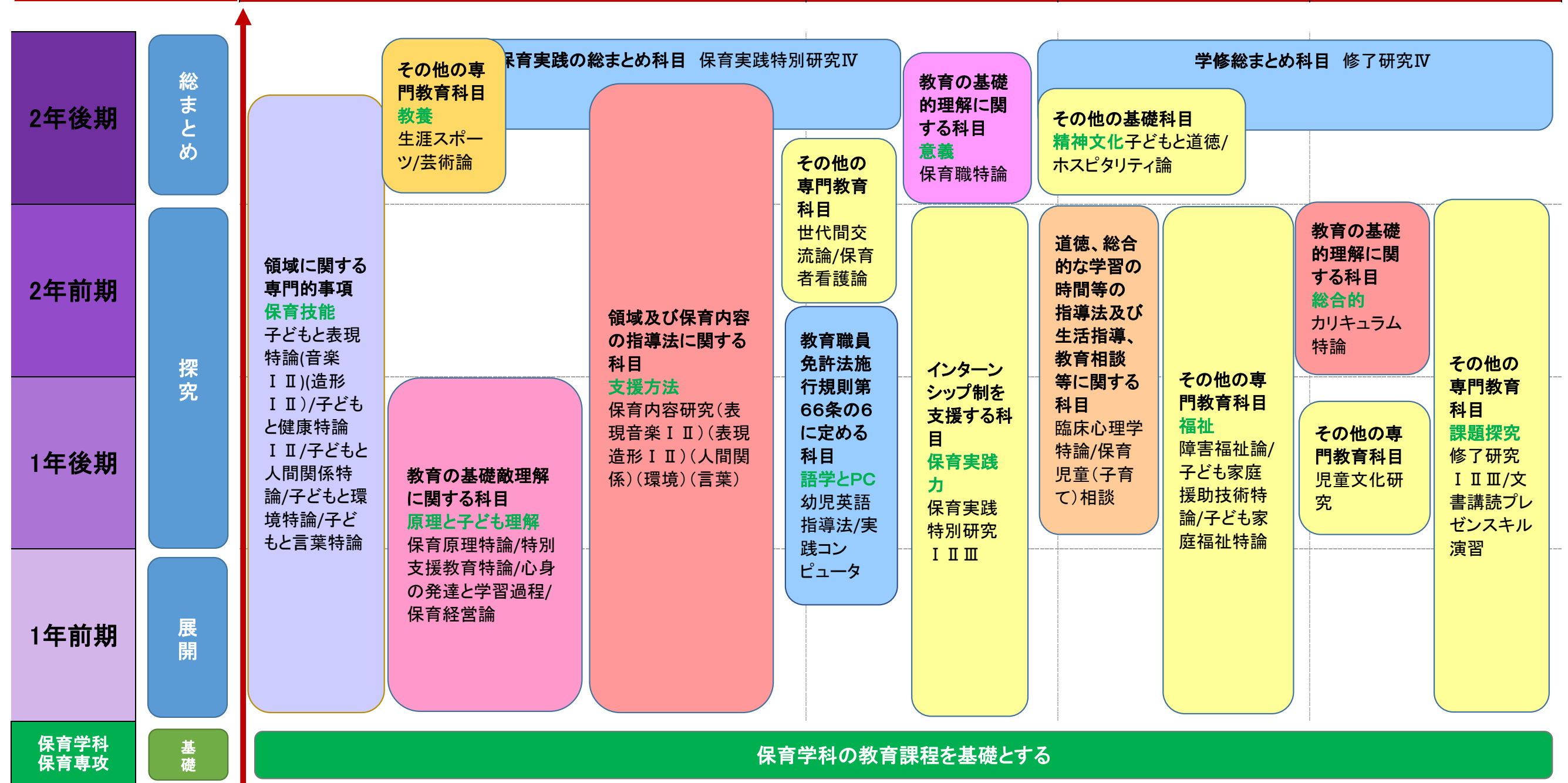


2022年度 保育学科 履修系統図



2022年度 専攻科保育専攻 履修系統図

専攻科保育専攻の ディプロマポリシー (修了認定・学位授 与の方針)	I 知識・専門技術・理解 豊かで幅広い教養を身に付けている 保育に関する専門的知識・技術を修得し、子どもを取り巻く環境を社会認識によってとらえ正しく理解している	II 汎用的技能 保育の様々な場面で問題を多角的かつ根源的に理解・分析し、解決していく力を身につけている	III 態度・志向性 地域の発展・向上に寄与する使命感を持ち、協働の意識とマナーを身につけ、保育の現場を支えることができる	IV 総合的な学習経験と創造的思考力 体系的な学習と現場での経験を保育実践力として総合し、保育の様々な課題を探究し続ける思考を持っている
カリキュラムポリシー (教育課程編成の方 針)	1 保育現場において活用する語学とPC操作の科目を配置する。 保育職の意義、保育の基礎理論、幼児の理解および幼児の活動を支援する方法に関する科目を配置する	2 保育実践力を培うための科目を配置する	3 幼児を取り巻く社会状況の認識や精神文化についての科目を配置する	4 課題探究と総合的保育力を向上させるための科目を配置する



カリキュラムポリシー (実施の方針)	教育内容・教育方法・学習方法については以下の通り定めます。 (1) 教育内容 全学共通の教養科目や各学科の専門科目を体系的に配列した教育課程の中で、必修科目や選択科目の内容に沿った教育を実施します。 (2) 教育方法・学修方法 学期(セメスター)毎に、講義、演習、実習、実験、実技を適切に配置し、全授業形態を通してアクティブラーニング型授業の展開に努めます。 学生の学び(学修成果)の確認と定着を促すために、各種の試験・課題・レポート等による多面的な評価を行い、結果を迅速に学生にフィードバックするよう努めます。
-------------------------------	---